



# JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

## 日本経営システム学会 第50回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第50回全国研究発表大会は、平成25年6月1日(土)、2日(日)に東洋大学(川越キャンパス)にて開催されます。つきましては、多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。何卒宜しくお願い申し上げます。

### 記

開催日：平成25年6月1日(土)、2日(日)

開催場所：東洋大学 川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 TEL:049-239-1300

[http://www.toyo.ac.jp/access/kawagoe\\_j.html](http://www.toyo.ac.jp/access/kawagoe_j.html)

連絡先：実行委員長 東洋大学 島田 裕次

TEL:049-239-1395(直通) FAX:049-239-9788 E-Mail:shimada@toyo.jp

統一論題：「経営システムの発展とIT人材の育成」

特別講演：「稼業は世の進歩に順ずべし」

株式会社亀屋社長 山崎 嘉正 氏

「次世代EDINETについて」

金融庁企業開示課 課長補佐 有田 敏二 氏

基調講演：「IT人材の育成について」

独立行政法人 情報処理推進機構 理事 田中 久也 氏

参加費：会員5,000円、非会員6,000円、学生会員3,000円(当日支払いは1,000円高)

非会員の学生は当日払いの学生会員と同額の4,000円

懇親会費：会員5,000円、非会員6,000円、学生3,000円(当日支払いは1,000円高)

昼食：1日(土)、2日(日)とも学内の食堂が利用できます。近辺の食堂等が少ないため、ぜひご利用ください。

宿泊等：大学近くにビジネスホテルがあります。東武東上線・JR川越駅周辺にもホテルがございます。

参加申込：本JAMS NEWSに同封の振込用紙にて、5月24日(金)までに上記金額をお振り込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

### ■発表者の方へ(会場設備について)

すべての発表会場には備え付けのPCとプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用ください。デジタルデータ(USBフラッシュメモリー、CD-R)をお持ちください。特殊なソフトをご使用の場合は、ノートPCをお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になりますので準備に時間がかかります。

### ■学生発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい(もし、ご不明な点がありましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい)。

- ・学生セッションの発表は、原則として正会員(一般的には指導教員)との連名とし、ファースト・オーサーは学生とする。
- ・学生発表優秀賞の受賞対象者は、ファースト・オーサーの学生のみとする。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とする。

■大会会場へのアクセス

電車をご利用の方

- 東武東上線 鶴ヶ島駅下車 東口から 徒歩約 10 分（新西門まで）
  - 東武東上線 池袋駅→鶴ヶ島駅 急行約 38 分／準急約 45 分
  - 東武東上線 川越→鶴ヶ島駅約 8 分
- 車をご利用の方（広い駐車場がありますので、ご利用ください）

- 関越道 鶴ヶ島 IC から約 3.1km  
（鶴ヶ島方面に出て、市役所入口交差点左折、東武東上線踏切通過後約 250m 左折：南門入る）
- 圏央道 圏央鶴ヶ島 IC から約 3.8km  
（圏央鶴ヶ島 IC 直進、国道 407 号を右折、市役所入口交差点右折、東武東上線踏切通過後約 250m 左折：南門入る）



■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html> に従って運営しています。この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点は、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格：一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。
2. 学生会員の発表条件：学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。
3. 連名者の資格：研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。
4. 発表件数の制約：同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3 件目からは 1 件あたり 5,000 円を徴収します。
5. 口頭発表者の参加費支払い：口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。
6. 参加費の返還について：既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。
7. 発表のキャンセルと無断欠席：大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

## 第 49 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 福井幸男

日本経営システム学会第 49 回全国研究発表大会が、2012 年 12 月 8 日（土）～9 日（日）、統一論題「新時代を切り開く経営システム」のもとに、関西学院大学で開催されました。基調講演は、関西学院大学経済学部教授の高林喜久生氏より、「地域経済の競争力を考える -2012 年版 関西経済白書を中心に-」を、特別講演として、山本化学工業㈱代表取締役社長の山本富造氏より、「世の中にないモノづくりで世界で勝ち抜く！ “高速水着素材から医療機器まで”」、そして、KAIST（旧・韓国科学技術院）名誉教授の黄鶴（Hark Hwang）氏の「Logistics Problems from Real-World Situations」をお話いただき、参加者と講演者の中で活発な討論が交わされました。引き続き、統一論題に対する研究発表 2 件、自由論題に対する研究発表 83 件（うち学生発表 49 件）の講演があり、やはり活発な討議がなされました。

大会の実参加者は 161 名、懇親会参加者は 59 名でした。開催校側事務の不行き届きでご迷惑、不都合があったにもかかわらず、今大会が混乱もなく運営できたのは、ひとえに関西支部および大会実行委員各位の献身的な働きと全国の会員諸氏のご協力とご寛容によるものでありました。神戸・原田の森（現・王子動物園）での本学商科開設 100 周年記念の全国大会として誠にふさわしいものでありました。ここに、改めて深く御礼申し上げます。